

ホームページが大変身!

<http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/>

10月16日(火)に当センターの市民活動推進事業のホームページが大変身。団体向けの情報に加え、今まで少なかった「これから活動する人」「若い世代向け」の情報を強化しました。

トップページの「最新情報」「Pick Up」に、今注目してほしい情報を掲載します。ぜひご覧ください。



2018年
年末号 (通巻No.281)

ナンバーゼロ



INDEX
目次

- P2 「市民活動団体の資金調達」
- P3 「こえんカフェ」開催しました。
- P4 ホームページが大変身!

かわさき市民公益活動助成金 2019年度 申請団体募集

この助成金は、市内で公益的な活動をするボランティア・市民活動団体の「事業」を資金面から支援することにより、団体運営の将来の自立・発展をめざしています。

※この制度は川崎市からの補助金(*)および公益財団法人河川財団からの助成金を原資としています。(*)2019年度川崎市予算の成立を前提としています。

<助成メニューと概要>

■新しく活動を開始した団体が行う事業

募集期間: 2019年1月17日(木)~2019年2月28日(木) 当センター必着(最終日窓口提出は17時まで)

名称	助成額	申込資格
スタートアップ助成	10万円以内	*3名以上で構成される発足後3年未満の団体 (2019年4月1日現在) (1団体1回だけ受給することができます。)

■これまでの活動を充実または拡大して実施する事業、及び類似の活動を新たに企画し実施する事業

募集期間: 2018年11月20日(火)~2019年1月16日(水) 当センター必着(最終日窓口提出は17時まで)

名称	助成額	申込資格
ステップアップ30	対象経費の80%以内 (上限30万円)	*スタートアップ助成を受給したことがあり、 5名以上で構成される発足3年未満の団体
ステップアップ100	対象経費の80%以内 (上限100万円)	*5名以上で構成される概ね3年以上 (2019年4月1日現在)の活動実績を有する団体
ステップアップ200	対象経費の70%以内 (上限200万円)	

(同一の事業ではステップアップ100、200を合わせて3回まで助成を受けることができます。但し毎回申請・審査が必要)

<提出資料>

・かわさき市民公益活動助成金申請書(第1号様式) ・団体の規約・会則 ・団体の2017年度決算書および2018・2019年度予算書

申請書は当センターをはじめ、市内の区役所、市民館、図書館などの公共施設にあります。詳細については、当センターにお越しいただくか、ホームページでご確認ください。

おめでとうございます!

10月30日(火)川崎市総合福祉センターを会場に開催されました「第56回川崎市社会福祉大会」にて、川崎市表彰等の表彰式が行われました。

当センターが表彰候補者として推薦させていただいた川崎市認知症ネットワークが、社会福祉功労賞(市長表彰)を受賞されました。

家族だけで悩みや困りごとを抱え込まず、社会とつながることが認知症者と介護する家族の支えになるという考えのもと「孤立させない」「認知症を理解して見守りを応援する人を増やす」などの活動を実施しており、社会福祉の推進に寄与されたことが評価されました。



予告
見て、聞いて、楽しんで、かわさきの市民活動を知ろう!

恒例
こえん楽市

(かわさきボランティア・市民活動フェア)

今年度は、かわさき市民活動センター・中原市民館で2019年2月2日(土曜日)に開催します。

予告
大人気!

かわさき市民活動センターの
**ボランティア・市民活動のための
パワーアップセミナー**

会場: かわさき市民活動センター
2019/1/19日 13:30~16:30(予定)
団体の終活 次世代へつなげるパトナー事例発表とワークショップ

■ご案内 MAP

ナンバーゼロ 2018年年末号(通巻No.281)
【編集・発行】
公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課
〒211-0004 川崎市中区新丸子東3-1100-12
電話: 044-430-5566 FAX: 044-430-5577
メール: suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp
WEB: <http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/>

Facebookでも情報を発信しています。
<https://www.facebook.com/kcac.suisin/>

ポータルサイト「応援ナビかわさき」
<http://kawasaki.genki365.net/>

◆2018年秋号は、9名の発送作業ボランティアの方に手伝っていただきました。

「市民活動団体の資金調達」

ボランティアな活動を行なっているとしても、活動を継続していくには「資金」はかならず必要です。メンバーの自己負担という状態が長く続くと、活動に参加すること自体が金銭的な負担になり、メンバーが活動から遠ざかってしまい、活動が衰退してしまう傾向も見受けられます。ミッション達成には、どんな事業展開が必要で、そのための費用はいくら位なのか、それをどうやって調達するのか、団体代表のリーダーシップのもと、メンバーで共有・分担することが必要です。

1 会費収入

多くの市民活動団体は会費制を設けています。会員から継続的に払われる会費は、用途の自由度が高い収入です。

2 寄付金収入

金銭や財産の寄付には、用途が限定された寄付と、一定の事業や活動に用途を限定された寄付があります。寄付者は、自分の寄付が具体的にどう役立ったかに関心がありますが、団体の活動には、用途が限定されない資金も必要です。

3 助成金収入

助成金は、事業などを支援するために提供されるもので、その意義を認めた民間企業・基金や財団が、団体の事業や組織の活動資金の一助として提供するものです。多くは、一定の審査を経て助成が決定されます。

4 補助金収入

補助金とは、国や自治体が、税金を原資として、ボランティアな活動を行う団体や個人に対する資金提供をいいます。多くの場合、特定の事業を任せる対価として提供されますが、見返りを求められないものも一部には存在します。

5 事業収入

サービス・労力の提供、物品販売で得た対価は、自立した団体運営を目指す上では重要な収入になります。NPO法人では、ミッション達成のための事業を「特定非営利活動に関する事業」、ミッション達成のための活動資金を得る事業を「その他の事業」と分けて経理します。国や自治体から事業を受託する事例も増えています。

上記資金がバランス良く獲得できれば、財政的には理想的です。まずは、自前の財源を充実し、財政基盤をある程度確立したうえで、更なる成長をめざして助成金や補助金に挑戦する、融資を受けるなど、資金調達のあり方を長期的・戦略的に考えていくことが大事でしょう。

ここがポイント!

かわさき市民公益活動助成金は「事業助成」です

団体が使うお金には、団体の運営に必要なもの(事務所や総会の費用など)と、事業(活動)に必要なもの(謝礼、会場費、通信費、印刷費など)に分けられます。かわさき市民公益活動助成金は、あなたの団体の事業への助成です。

助成を受けたい事業に係る計画書と収支予算書を提出していただきます。第一次審査は申請書類のみで審査しますので、申請書の書き方がポイントとなります(スタートアップ助成は第一次審査が免除されます)。

団体全体の運営と助成を受けたい事業を分けて考えることが難しい、会計をどう分けるか、申請書にどう表現すればいいのかなど、申請書を書く前に、疑問点は事前相談で解決してください。

【事前相談】要予約

助成金の対象となる事業の見極め、助成金の基礎、申請書の書き方や対象経費の範囲など、助成金申請に係る各種相談に応じ、提出までをサポートしています。

初めて申請する団体はぜひとも事前相談をご利用ください。

ごえんカフェ

「ごえんカフェ」は地域を良くしようとする取り組みに関心のある方の、「ごえん」をつなぐ交流会です。10月13日(土)13時半~15時半、かわさき市民活動センターのフリースペースに、市民活動・ボランティア、社会貢献等に関心のある団体、企業、土業、大学、行政、個人と様々な方々約90名(職員含む)が集まり、自己(団体)紹介や名刺交換などで交流を深めました。

初めて「ごえんカフェ」にご参加いただいた方にも、楽しく交流していただけるよう、「ごえんカフェ事例発表」や「PRタイム」で、これまでの「ごえんカフェ」での出会いを通じて出来たご縁や、ご自身の団体のPRをしていただきました。

参加者アンケートには、

いろいろな活動を
されている方とお話ができ、
コラボできそうな予感が
生まれました。

久しぶりに参加
しましたが、若い人、
新しい団体も来ていて、
変わったなと
思いました。

とても良い
ご縁になりました。
今後も続けて
頂きたいです!

雰囲気、居心地が
とてもステキでした。
ありがとうございました。

思いがけない
出会いがあって
面白いですね!

…などのご感想、ご意見がありました。

「今回のごえんカフェでの出会いをきっかけに、こんな連携ができました!」という報告をたくさんいただいていることを楽しみにしています。来年度もどうぞお楽しみに!



【市内の活動を紹介します】

一般社団法人ビブリオポルトス

川崎市中原区で活動する読書普及団体「一般社団法人ビブリオポルトス」代表理事の小松雄也(27)と申します。私達は現在「絵本のまち、かわさき」運動を川崎市中原区の後援で展開中です。若年層の人口流入の激しい中原区において乱立する「保育園」の「絵本」が不足しています。私達は2018年7月から「絵本」そのものを集める「絵本

のまち、かわさき」運動を始めました。「絵本のまち、かわさき」運動は身近な「絵本」を通じて「図書寄贈」という「社会事業」に参加することで、地域のことも達との繋がりを実感して欲しいという想いで始めました。5,000冊の「絵本」を目標に市内から集めて、本が必要とされる施設に順次届けて行きたいと思っています。

【「絵本のまち、かわさき」運動】

「絵本」を集める方法は「郵送」と「中原区内ならば【小松が】自転車で受け取りに行く」です。住所は下記に記載していますが、本を送っていただく前に必ずお手紙かメールでその旨をお知らせください。まずは地元である川崎市から「絵本」による新しい繋がりができれば幸いです。



- 期 間: 2019年3月31日(日)まで
- 場 所: 〒211-0041 中原区下小田中2-21-17-206 連絡先: komatsu16yuya@hotmail.co.jp (「絵本」を送っていただく前に、必ずお手紙かメールでのご一報をお願いします)
- 主 体: 一般社団法人ビブリオポルトス (<http://komatsu16yuya.wix.com/biblioportus>)
- 参考URL: <https://readyfor.jp/projects/biblio-portus15585> 「読書を通じて夢の実現! 人生を切り拓く1冊をこども達のもとへ!」
- 後 援: 川崎市中原区



王禅寺子ども文化センター編

「おと絵がたり」



川崎市麻生区の王禅寺子ども文化センターでは、子どもたちの創造力や情緒を育み、芸術的感性を養うことを目的として、音楽や語りを交えた影絵で昔ばなしの世界を伝える「おと絵がたり」の方々をお招きし、影絵を披露していただきました。

当日は約60人の子どもたちが参加し、川崎市やその近隣の地域にまつわる3つの物語をスクリーンに映し出された影絵で楽しみました。1作目は「多摩川のフクロウの話」で、楽器を使って再現されたフクロウの鳴き声に、子どもたちは次第に物語の世界に引き込まれているようでした。中原区の

お寺にまつわる「神地とおばけ寺」という物語のあとには、特別に影絵の制作風景を見せていただくことになり、だんだんと作品ができていく様子に興味津々な様子で、誰もが釘付けになっていました。最後は横浜にまつわる「猫の踊り場」という物語で、賑やかな音楽に乗せて踊る猫たちに、思わず笑顔になる姿が見られました。公演終了後には「音」の出し方についても教えていただき、テープの芯などの身近な道具で作られた楽器からつむぎ出される音色の数々に驚きを隠せない様子でした。音・絵・語りの融合により展開されるニュータイプの影絵は終始好評で、終了の際にはとても名残惜しそうにしている子どもたちがたくさん見受けられました。

当財団では、今後も様々な活動で活躍されている地域の団体と連携して、子どもたちの豊かな情操や創造力を育む行事に積極的に取り組んでまいります。

ぼくたちの住んでいる地域の昔ばなしを、楽しみながら知ることができたね!



※こぶんたは、当財団が管理運営するこども文化センター52施設のキャラクターです。